

# 高 フルーツバスケット

※笛吹といえば数々のフルーツ。PTAもいろいろな想いをもちた方々がチームワークよく集まり運営される様を表しました。

我が子が桃花台学園に入学してからこの三年間、役員としてPTA活動に取り組んで参りました。特に今年度はPTA会長として微力ながら一年間活動させていただきました。会員の皆様にも協力していただき、また、地域の皆様にも参加していただき、学校と連携しながらPTA活動を実施することができました。

今年度も四月から組織を立ち上げ、PTA活動がスタートしました。PTAとして最も大切な行事PTA総会を無事に終え、桃翔祭、秋の大収穫祭などに向けて準備が始まりました。多くの会員の皆様に、桃翔祭、秋の大収穫祭での駐車場係、NPO法人フードバンク山梨への募金などご協力をいただきました。

また、役員・理事の皆様には「広報・研修部」と「文化事業部」のいずれかの専門部に所属していただき、活動して参りました。桃翔祭でのバザーの実施、秋の大収穫祭での模擬店の出店は「文化事業部」を中心に行いました。「広報・研修部」ではPTA新聞『フルーツバスケット』の発行、外部講師をお招きしての学習会を企画・運営しました。活動させていただく中で互いに学年の枠を越えて交流を深め、楽しみながら活動することができました。さらに、活動していく中で結束力の凄さを感じることができました。

関知P連、県知P連、高P連、峡東地域教育連絡協議会などの外部団体の総会・理事会・講演会に出席させていただき、色々な方々と交流し、有意義な体験となりました。

PTA会長として、活動していく中でいたらないことばかりあったかと思いますが、先生方のお力添え、また役員、理事の皆様、会員の皆様に支えられたことにとても感謝しております。PTA活動へのご支援、ご協力、本当にありがとうございます。この場をお借りしてお礼申し上げます。

今後も桃花台学園の生徒の皆さんが充実した学校生活を送り、そして地域から愛される素晴らしい学校になれるように、また、今後も伝統を継承し、さらなる発展をされますことを心よりお祈り申し上げます。



『一年間の活動を振り返って』

PTA会長 白鳥 一美

## 桃花ダイスキマーケットの様子



桃花ダイスキマーケット

広報・研修部

横田 由美

「桃花ダイスキマーケット」は、地域の方々との交流するとともに、職業生活に必要な実践的な技能や態度を養うことを目的に月に一度開催しています。

食品加工コース、農業生産コース、環境メンテナンスコースで真心を込めて毎回、準備を行って行くそうです。

先日、私も参加して様子を知ることができました。地域の方々に中心に大変にぎわっていました。買い物をしたり、カフェでお茶を飲みながら保護者同士、楽しく語り合ったりすることができました。

今回は、食品加工コースで製造販売しているパンを紹介したいと思えます。食パンを始め、メロンパンやウインナーパン、また今年度の干支であるイノシシパンや季節限定のいちごメロンパンも販売していました。その中でもメロンパンが一番の人気のようです。値段もお手頃で、つついっ何個も買ってしまいますよね。

皆様もぜひ、一息つきにいらしてはいかがでしょうか。

### <平成30年度3年生進路状況> (一般就労31人 福祉就労1人 未定1人) 進路指導部主事 星野 融悦

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 株式会社アサヒ総合サービス 株式会社明野九州屋ファーム  
 株式会社いちやまマート青果本部 株式会社NSD八ヶ岳ファーム 株式会社光・彩 山梨厚生病院  
 株式会社甲州ほうとう小作 株式会社甲府明電舎 甲府東洋株式会社 株式会社東京インテリア家具  
 コニカミノルタオプトプロダクト株式会社 わたぬき服装合同会社 オオタ総合食品株式会社  
 株式会社コニカミノルタサプライズ ジーエスケイ株式会社 神州一味噌株式会社 日世株式会社  
 住電デバイスマイクロアセンブリ株式会社 株式会社山梨さえきセルバ御坂店 ちぼりキネヤ株式会社  
 ちぼりパック株式会社 山梨FUJIフルーツパーク 帝国インキ株式会社 株式会社中村製作所  
 株式会社ノジマイオンモール甲府昭和店 第一精工株式会社 ワタキューセイモア株式会社  
 株式会社ベイシアフードセンター都留店 甲府積水産業株式会社 ジットたいよう ※順不同

### 編集後記

広報・研修部 小澤 圭美

先生方や保護者の皆様にご協力いただき、また広報・研修部員同士でも構成の内容をどうしようか話し合いながら『フルーツバスケット』第六号を無事発行することができました。毎年恒例のイベントも多く掲載され、内容も盛り沢山になったかと思えます。

これからも皆様に共感していただける、読んで楽しい！と思っていただけ新聞を皆様のアンケートや情報提供で寄せられた内容を参考にしながら作り上げるよう、広報・研修部員一同努力いたします。次号、新たな広報・研修部員が皆様にアンケート、インタビュー等でご協力を願うことがあるかと思えます。その際には、ご協力よろしく願っています。

今回ご協力いただいたPTA会長、校長先生、保護者の皆様、先生方に感謝申し上げます。編集後記とさせていただきます。

### ◆編集委員◆

広報部部長	(3年)	平井 理恵
広報部副部長	(3年)	木村 政彦
広報部副部長	(1年)	中嶋 良美
広報部委員	(3年)	横田 由美
広報部委員	(2年)	小澤 圭美
広報部委員	(1年)	土屋 喜美
広報部委員	(1年)	村松 美奈子
広報部委員	(1年)	鷹野 未来
広報部事務局		小沢 松一郎
		風間 真由美
		西島 博子



『学びの場を支えていただいて』

校長 小佐野 勝彦

本校で行われている教育活動、その中でも特に各コースの専門教科の授業の内容を見ると、将来、仕事をしていくために必要なことが吟味されて盛り込まれています。コースに所属する全員での朝のミーティングでその日一日の予定が確認され、各自が役割を理解して活動を始めます。

活動の中で新しいことを知り、体験し、さらにそれができるように練習を重ねていきます。その姿を見て、清々しさを感じます。それは、人が成長していく時の、向上していこうとする時の内なる静かな力をどこかで感じるからではないかと思えます。今はいままでになく、諦めずに自分の取り組むべきことに向き合っている姿に、自らの居住まいを正される思いがあります。

保護者の皆様も学校にお越しいただいた折に、生徒たちの様々な活動を目にしておられると思います。その生徒たちの活動を支えてくださっているのがPTA活動であると思えます。桃翔祭でのバザーや秋の大収穫祭への出店、さらに駐車場の係もしていただきました。いずれも各行事をより活気あるものにしてきています。その中で保護者の皆様が楽しんで活動されているのがとても印象的でした。それぞれの方が仕事やご家庭のことでお忙しい中で、学校に来ていただいて時を捧げ、働きを捧げてくださっていることに心からお礼を申し上げます。保護者の皆様、学校行事に協力してくださっていることで、生徒たちもより一層、自分の活動に安心して取り組んでいくことができるのだらうと思えます。自分たちのことに関心をもってもらい、理解してもらっていることで活動への意欲も高まるのではないかと思います。今年度はPTA広報・研修部主催の保護者対象研修会も行われ、活動の幅をさらに広げていただいております。より充実したPTA活動を展開していただいております。

今後も生徒たちの活動を支えていただき、桃花台学園がさらに充実した学びの場になりますようご協力いただければと思います。

# 第4回



クラス旗入場

クラスごとに工夫して作成しました。



美術部発表



合唱部発表



体育祭 2人3脚

## 保護者レポート

「3年間の体育祭を見て感じたこと」

広報・研修部 平井 理恵

### ◆1年生(平成28年度 第2回桃翔祭)◆

先生方が生徒達の側で、丁寧に指導してくださっていたため、観覧席からは先生方の後ろ姿が印象に残りました。まだ2回目の体育祭ということで競技準備に時間がかかっていたため、待ち時間もありませんでしたが、競技になると頑張っている生徒の姿が見られました。最後のルーは、来賓席、本部テント、保護者観覧席を移動させてからの競技となり、大がかりでびっくりしました。

### ◆2年生(平成29年度 第3回桃翔祭)◆

先生方から進行の指示を出していただけただことでスムーズに競技が進められました。また、競技毎に説明があり、生徒が今どこで何をしているのかが分かり、見ていて楽しかったです。生徒たちが協力しあって準備、片付けをしている姿も見る事ができました。最初から最後まで楽しんで見る事ができました。

### ◆3年生(平成30年度 第4回桃翔祭)◆

雨の為見る事ができなかったのが残念です。

振り返って思ったことは、体育祭を見に来られる方が少ないということと最後の体育祭が雨の為、見る事ができなかったことが心残りです。

## 寄宿舎の生活

寄宿舎の生活について生徒達に聞いてみました。  
男子10人 女子5人が生活しています。

### ☆ みんなでの活動の思い出(特別登校日や季節の活動)

小林さん(1年)

特別登校日にスイカ割りや花火などしました。とても楽しくて、いい思い出になりました。

横森さん(1年)

スイカ割りをしました。目かくしてやりました。もうちょっとでしたが、スイカには当たりませんでした。スイカはおいしかったです。なかなかする機会がないスイカ割りができて良かったです。

奥脇さん(1年)

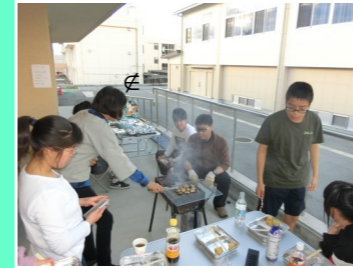
みんなでお楽しみ会をしたことが夏の思い出です。お菓子つかみやいろいろなお菓子やジュースを食べたり飲んだりしたことです。

大房さん(2年)

みんなと一緒にお菓子とジュースゼリーを食べたり、お菓子つかみゲームをしてとても楽しかったです。

畑野さん(1年)

友達と協力して計画や準備をし、寄宿の外で魚やサツマイモを焼いて食べました。みんな喜んでくれて楽しかったです。



### ☆ 早帰りの時の楽しみ方(1時30分下校や水曜日)

小尾さん(1年)

早く帰った日はバスケットをしたり、お出掛けに行ったり、友達と話をしたりして楽しく過ごしています。

細田さん(1年)

水曜日の2時30分下校の時は、寄宿舎の友達と一緒にサッカーやソフトボールをやっています。

宮本さん(1年)

寄宿舎に帰って来たらいつも友達と話をしたり遊んだりしています。この寄宿舎に入って楽しい思い出がいっぱいできました。

横山さん(1年)

早く帰ることが出来る水曜日は、1週間で一番楽しみな日です。僕はみんなと遊んだり、身体を休めたり、買い物に行ったり楽しんでいます。

小澤さん(3年)

私の早帰りの楽しみ方は、友達や先生と楽しく話したり、買い物に出かけたりすることです。

森田さん(2年)

自分は早帰りの日は自分の部屋で本を読むなどして過ごします。自分は一人がいいので、部屋にいるのが落ち着きます。

土屋さん(1年)

早く帰ってきたらお菓子作りを良くします。ホットケーキミックスやゼリーやプリンのもとなどいろいろ材料があります。缶詰のパイナップルが出たときには、砂糖でからめてあめを作ったりもしました。



### ☆ 日常生活の思い出(楽しみや頑張っていること)

澤井さん(1年)

学校から帰った後は、バスケットをしたり将棋をしたりします。その時間が一番幸せです。

河西さん(2年)

僕は寄宿舎でリーダーをしています。寄宿舎の人たちが行事などで楽しめるようにがんばっています。

Kさん(3年)

去年から同級生の友達が入り、不思議と毎日が楽しく思え、お互いに辛い時は支え合い助け合っています。何のきっかけで仲良くなったのかわかりませんが、運命と感じています。



# 桃翔祭



太鼓部発表



各クラスの模擬店

「桃翔祭を振り返って」

生徒会長

今年度は三年生にとっては最後の学園祭でした。思い出に残る学園祭にしたいと役員で協力して取り組みました。学園祭が始まる前の一学期から準備してきて、夏休み中も部活動の終わった後に生徒会で集まりました。九月に入ってから昼ご飯も食べられないほど忙しくて大変でしたが、今、振り返ると良い学園祭にできたかと思えます。

一日目は当日雨が降って、体育館での開催となりました。とても残念でしたが、準備をしっかりとってきたおかげで、学級旗入場と開祭宣言は上手くいってよかったです。体育祭は応援も盛り上がり、私のクラスの属するオレンジチームが優勝しました。

二日目の文化祭は有志発表と模擬店が行われました。有志発表と模擬店の準備はとも大変でしたが、それぞれが工夫を凝らして楽しむことができましたようです。多くのお客様に来ていただいたのでよかったです。

この二日間を通して、各クラスがよりまとまり、学校全体としても雰囲気よくなったと思います。



## PTAバザー

多くの皆様のご協力のもと、たくさんの品物が集まりました。当日の販売も大盛況で売り上げは、40,950円でした。ご協力ありがとうございました。

「桃翔祭を見学して」

PTA副会長 木村 政彦

本年度の体育祭を本誌に掲載するため、写真撮影を行いました。保護者の中では唯一、体育祭を見学させていただきましたので、報告させていただきます。

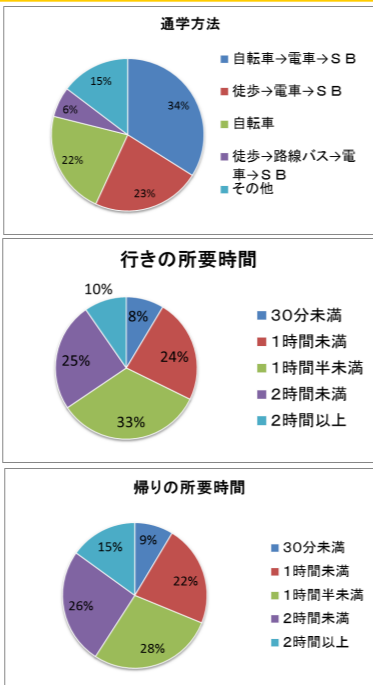
今年度は雨のため、体育館内で行ったので、競技数は少なくなりましたが四チームに分かれて得点を競い合っていました。チーム内のコミュニケーションも活発で生徒達は雨だろうと関係ないといった感じでした。

私は、三年間、体育祭を見学してきましたが、先生方と生徒達がとても近い関係にあることがこの学校の特色なのではないかと感じています。

## 通学に関するアンケート

PTA広報・研修部では2学期に全校生徒108名の生徒に対し、通学に関するアンケートを実施しました。94名の生徒から回答がありました。(87・0%)

### 1 生徒の交通手段と所要時間



### 2 家から学校までが遠いと思う生徒の声

- よかったこと
  - 石和温泉駅から学校までスクールバスが利用でき、助かっている。
  - 自宅からは遠距離であり、寄宿舎を利用して、リラックスでき、安全に登校できる。
  - 寄宿舎では多くの友人と語り合える。
  - 最寄り駅から自転車を利用するため体力がつかない。給食を食べてから帰るので家までお腹がすかない。
  - 中学時代の友人と電車で一緒に語り合える。
  - 電車に長く乗るのでヘッドホンで音楽を長く聴くことができる。
  - 乗車待ちを利用してジュースを購入できる。
  - 以前に比べ朝早く起きる習慣ができた。
  - 友達と会話ができ、おもしろい人と出会える。
  - 毎日の景色の変化や夜空がきれい。
  - 就職に向けて体力作りに役立つ。
  - 歩くのが楽しい。
- いやだったこと・困ったこと
  - 自宅から毎日通学できないため寄宿舎に入舎。

### 3 家から学校までが近いと思う生徒の声

- よかったこと
  - 基本的にスクールバスを気にしないで好きな時間に登下校ができる。
  - 通学で負担を感じない。時間がかからない。
  - 電車の待ち時間や乗り換えがない。
  - 事故に遭うことがなく、通学できる。
  - 最寄り駅が自宅の近くにある。
  - いやだったこと・困ったこと
    - 自転車通学し、学校まで上り坂が多くて大変。
    - 夏は自転車通学するだけで疲れる。
    - バス待ちの人のように友達と話がしたい。
    - 台風の後、道に木が倒れていて、いつもより通学に時間を要した。
    - 雨の日、車が多い。
- アンケート結果から
  - アンケート結果から約8割の生徒が公共交通機関を使用している。
  - 約7割の生徒が通学に片道1時間以上往復2時間以上を費やしている。2時間以上登校に費やしている生徒は10%、下校に2時間以上費やしている生徒は15%である。登校時より下校時の方が公共交通機関の接続が悪いと推測される。

(3) 遠距離通学の生徒は、石和温泉駅から学校までのスクールバス、給食や寄宿舎利用が負担軽減につながっている。生活面では早起きなどの基本的な生活習慣や電車、バスなどの公共交通機関でのマナーが確立された。反面、通学に要する時間が多いため、公共交通機関内での過ごし方、例えば車内での読書やバス待ち時間に宿題を行うなど時間の有効活用を促す必要がある。

### 高P連、県知P連の活動について

PTA副会長 木村 政彦

本年度、PTA役員となり初めてそれぞれの総会に参加させていただきました。どちらもあまり聞き覚えのない組織でしたので、紹介させていただきました。

「高P連」は正式には「山梨県高等学校PTA連合会」となります。山梨県下の高等学校のPTAをもって組織されています。

「県知P連」は「山梨県特別支援学校知的障害教育校PTA連合会」となります。山梨県下の知的障害教育校7校のPTAをもって組織されています。活動としては、親睦会・研修会の開催、県知P連会報誌「かけはし」の作成・発行などを行っています。

どちらの組織も本校PTA活動に重要な組織となります。

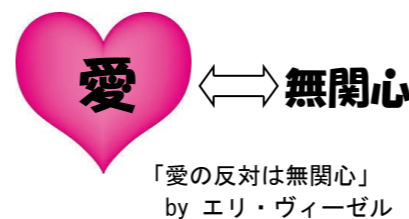
今年度、県知P連の親睦会に息子とともに参加させていただきました。富士吉田市のスポーツ推進委員とズンバを踊ったり、フリスビーボウリングをしたり、楽しい交流のひとつを過ごすことができました。来年度は桃花台学園が、県知P連親睦会の担当になります。楽しい親睦会になりますよう、ぜひ、ご協力をお願いします。

# 思春期の性に関する学習会

思春期の性に関する学習会に参加して

中寫 良美

十月三日、本校視聴覚室にて「知っておきたい 子どもの性に関する話」思春期の身体・心・性」と題し、思春期の性に関する学習会が開催されました。講師の佐々木先生は、普段はフリーランスの保健師さんで、乳幼児健診等の業務の傍ら、性教育やその相談も請け負っているそうです。先生は、小・中・高等学校それぞれに、特別支援学校でも講演のご経験があるとのこと。実体験や事例を交えながらの展開、分かりやすい言葉を使った分かりやすい説明、鋭い切り口、それについて軽快なトーク：聞き手を飽きさせない話術のおかげで、とっつきにくいと捉えがちだった性に関する情報や知識がすっと自分の中に入り込んでくるのがわかりました。



講演内容としましては、「性教育はなんのために必要か」「体の仕組み・悩み 知識の確認」「二次性徴と思春期」「人と関わる性」を大きな柱として話が展開されました。その中でもとりわけ先生が強調していたのが、「(性暴力について)被害者は悪くない、加害者が100%悪い!」ということ。一方で、もし何かあったことを話してくれた場合、それが被害者であっても加害者であってもまず、「よく話してくれたね、話してくれたありがとう」と声をかけることが大切だそうです。特に加害者の場合は「い、なぜ、どうして?」と問い詰めようとしがちですが、起こしてしまったことと正直に話してくれたことをわけて考え、その上で、どちらの場合も「どうしたらいいか」を一緒に考えるのだそうです。また、加害者の場合はその背景に被害体験が隠れている場合もあると知りました。

まずは日頃から親子間で話しができる雰囲気作りを心がけ、正しい知識をもった上で、心身の健康や安全、科学的見解に沿った身体の仕組みについて我が子へ伝えていけたら：と、そう考える良い機会になりました。

子どもにつけてもらいたい力

- ・自分でよく考え選んでいく力
- ・信頼できる人に相談する力
- ・助けを求める力

(自己肯定感、他人に対する信頼感がないと助けを求めることはできない。)

性被害にあわないために 佐々木 睦美氏

## 桃花ダイスキマーケット



# 「秋の大収穫祭」



『食品加工の店長として』

食品加工コース 日原 彩乃

今年の秋の大収穫祭では、食品加工コースの店長をやらせていただきました。収穫祭開店前にはオープニングセレモニーをしました。食品加工コースでは、お客様にパン、焼き菓子、桃カフェのアピールをさせていただきました。そして、販売では、パン、焼き菓子、収穫祭限定ピザ、初のホットドッグを販売しました。お客様がたくさんの商品を買ってくださったので、完売することができました。私は今回が最後の大収穫祭でした。お客様にパンや焼き菓子などを買っていただいたときのお客様の顔を見るととてもうれしくなり、今回の大収穫祭をやったよかったなと思いました。私が卒業しても食品加工のパンや焼き菓子がずっとお客様によるこんでもらえる商品になることを楽しみにしていきたいです。



『カフェの店長として』

食品加工コース カフェ部門 石井 善行

私はカフェの店長として、今年の収穫祭をどのように良いカフェにするのか考え、スタッフと共に話し合いを重ねました。今年もアピタ、イオンでチラシ配りをさせていただき、チラシの配り方、声かけ等も工夫をしました。また、店内の飾り付け、接客の練習等をして当日に臨みました。当日は「がんばっているね」「おいしかったよ」等、励ましの言葉をかけていただき嬉しかったです。ゆったり過ごされている様子を見て、またさらにお客様に喜んでいただけるサービス等を考えていけたらと思いました。後輩に引き継ぎをし、良いカフェ作りをしてもらいたいと思います。



## 桃花ダイスキマーケット ☆秋の大収穫祭

<PTA「文化事業部」では、模擬店を出店し、焼きそばを300食販売しました。大盛況でした。>

『心を込めて作った野菜』

農業生産コース 山下 優太



大収穫祭に向けて僕は、二つ貴重な経験をしました。

一つ目は、店長になったことです。最初は先生や他の三年生にサポートしてもらいながらやりました。先頭に立つことによって、良い経験をしました。

二つ目は、白菜の収穫です。白菜を切る時には、傷つけてしまうと販売ができなくなってしまいますので気をつけて作業しました。袋に入れる時にも、買ってくださるお客様のことを思って、丁寧に入れることを心がけました。

当日は野菜が完売し、三年生にとって最後の大収穫祭が大成功してよかったです。



『新商品の「バンブースコップ」を販売して』

環境メンテナンスコース 鶴田 正人

私は、竹で作ったスコップ「バンブースコップ」の販売担当になりました。このスコップは、新商品であるため、お客様が本当に買ってくれるのか不安でした。「いらっしやいませ」の呼び込みの声が届いたのか、お客様が次々に来て、「持ちやすい」や「使いやすい」などと言って買ってくれました。とても嬉しかったです。私はもう少しで卒業しますが、来年もバンブースコップがたくさん売れることを楽しみにしています。

